

副専攻名 国際関係・国際協力

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

グローバル化が進む国際政治、国際経済、国際社会の一般的な仕組みを学びながら政治経済に関する専門的な知識を身につけ、国際社会の諸問題を論理的に考察することのできる高度な思考力を養うことを目標とする。20単位以上を選択履修すること。

副専攻の学習成果

自己の専攻分野に加えて、国際社会に関する専門的な知識と理解を得ることで、国際的な業務にかかわる際に効果的な役割を果たせるようになると期待される。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	開講期※1	
				前期	後期
16479	国際関係論	国際関係論の基礎となる概念や理論を学ぶ	2～4		
16269	国際関係論E	国際関係論の基礎となる概念や理論を英語で学ぶ	2～4		
16049	国際コミュニケーション論	国際政治におけるマスメディアの役割、影響等について理解する	2～4		
16206	国際経済学1	国際経済に関する理論と実態の分析等を学ぶ	2～4		
16406	国際経済学2		2～4		
16260	国際経済学1E	国際経済に関する理論と実態の分析等を英語で学ぶ	2～4		
16460	国際経済学2E		2～4		
16208	国際貿易論1	国際貿易の意義、実態、実務等を学ぶ	2～4		
16408	国際貿易論2		2～4		
16261	国際貿易論1E	国際貿易の意義、実態、実務等を学ぶ	2～4		
16461	国際貿易論2E		2～4		
16062	国際学特論E	紛争後の社会における民主的制度の役割について英語で理解する	2～4		
16271	国際機構論E	今日の世界における国際機構の役割や課題について英語で理解する	2～4		
52026	国際政治史(東洋)1E	東アジアを中心とする国際政治の歴史について英語で学ぶ	2～4		
52526	国際政治史(東洋)2E		2～4		
52338	国際政治史(西洋)1E	米英欧を中心とする国際政治の歴史について英語で学ぶ	2～4		
52838	国際政治史(西洋)2E		2～4		
16209	国際協力論1	発展途上国へのODAの意義、実態等を学ぶ	2～4		
16409	国際協力論2		2～4		
16264	国際開発論1	いくつかの経済発展モデルと実際の帰結について、経済学の観点から理解する	2～4		
16464	国際開発論2		2～4		

副専攻名 国際関係・国際協力

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

グローバル化が進む国際政治、国際経済、国際社会の一般的な仕組みを学びながら政治経済に関する専門的な知識を身につけ、国際社会の諸問題を論理的に考察することのできる高度な思考力を養うことを目標とする。20単位以上を選択履修すること。

副専攻の学習成果

自己の専攻分野に加えて、国際社会に関する専門的な知識と理解を得ることで、国際的な業務にかかわる際に効果的な役割を果たせるようになると期待される。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	開講期※1	
				前期	後期
16262	国際開発論1E	いくつかの経済発展モデルと実際の帰結について、経済学の観点から英語で理解する	2～4		
16462	国際開発論2E		2～4		
51029	国際金融論	国際金融の仕組みと現状を学ぶ	2～4		
51030	国際金融史	国際金融の歴史を学ぶ	2～4		
16068	国際政治経済論	国際政治経済秩序の形成と変容や、その理論その理論について学ぶ	2～4		
16069	国際公共政策論	国際法、国際機構、対途上国援助の概要を学ぶ	2～4		
52019	比較政治学1E	比較政治学の理論と民主主義国の特徴を英語で学ぶ	2～4		
52519	比較政治学2E		2～4		
51010	世界地誌A	発展途上国における開発の在り方の問題点等を学ぶ	2～4		
51011	世界地誌B	発展途上国におけるあるべき開発像をさぐる	2～4		

※1 開講期は、Webシラバスでご確認ください。